



新機能および変更された機能に関する情報

- [新機能と更新情報 \(1 ページ\)](#)

新機能と更新情報

このセクションでは、Cisco Intersight 管理モード移行ツール、リリース 4.0.1 の新機能と変更された動作に関する情報を示します。

表 1: Intersight マネージド モード移行ツール、リリース 4.0.1 の新機能と変更された動作

特長	説明	参照先
オペレーティング システムの変更	ツールの基盤となるオペレーティング システムは、Ubuntu 18.04 から Ubuntu 22.04 に変更されました。したがって、IMM 移行ツール、リリース 3.1.1 を使用した既存のユーザーの場合、ツールの既存のバージョンからデータをバックアップし、新規 ova ファイルをインストールして、ツールの最新バージョンでデータを保存する必要があります。	Cisco Intersight 管理モードツールのアップグレード

特長	説明	参照先
ソフトウェア レポジトリのサポート	IMM 移行ツールリリース 4.0.1 には、ISO イメージまたはファームウェア パッケージをホストできるソフトウェア レポジトリ機能が含まれています。これを活用し、UCS サーバーでオペレーティング システムのインストールまたはファームウェア アップグレードを簡単に実行できます。	ソフトウェアリポジトリ
新規 Intersight 欧州地域向けサポート	IMM 移行ツール、リリース 4.0.1 は、Intersight SaaS デバイスの米国および EU 地域をサポートします。	変換のための IMM 移行の追加 クローニングのための IMM 移行の追加 Device Management
選択されたクローニングを実行する機能	IMM 移行ツール、リリース 4.0.1 は、クローンする必要がある移行のサーバー プロファイル/テンプレートを選択する機能を提供します。	クローニングのための IMM 移行の追加
変換中にサービス プロファイルの関連付けを保持する機能	UCS Manager/Central で割り当てられたものと同じサーバー シリアル番号に事前に、それぞれの変換されたサーバー プロファイルを割り当てることを選択できます。	デフォルト設定
クローニング中にサーバー プロファイルの関連付けを保持する機能	ソース Intersight デバイスで割り当てられたものと同じサーバー シリアル番号に、それぞれのクローニングされたサーバー プロファイルを事前に割り当てることを選択できます。	デフォルト設定
変換中にシャーシ/ラック サーバー ID を保持する機能	UCS Manager で定義されたものと同じサーバー ポートにシャーシ/ラック サーバー ID を保持するように選択できます。	デフォルト設定

特長	説明	参照先
vCon から PCIe スロットへのマッピングをカスタマイズする機能	デフォルト マッピングをオーバーライドし、変換で各ソース vCon 値それぞれの対応する PCIe スロット番号を手動で提供できます。	デフォルト設定
ドライブ セキュリティおよびファームウェア ポリシーなど追加ポリシーのサポート	IMM 移行ツール、リリース 4.0.1 は、変換およびクロニングの追加ポリシーをサポートします。	サポートされる機能

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。